

# Heroldo de HEL

N-ro 83

2000 januaro - februaro

ORGANO DE  
HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

# 北海道エスペラント連盟

053-0844

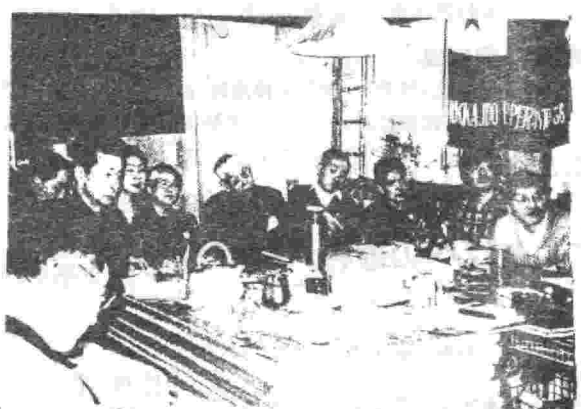
苫小牧市宮の森2丁目18-18 星田 淳 方

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

ĉe HOŠIDA Acusi

Mijanomori 2-18-18, TOMAKOMAI

053-0844 Japanio



Mezvintra Kurso

新春講習会

<言語権>に関する本邦初の書

# ことばへの権利

## ～言語権とはなにか～

言語権研究会 編

1999年10月25日刊行予定

本体2200円+税/四六判並製/208頁/ISBN 4-88303-061-X

インターネット時代、情報強者になるためにまず英語を駆使すべし、というスローガンは、はたして「当然」のことなのだろうか？ ことばは人間にとって基本的なものであるにもかかわらず、自分の言語を支障なく使うことを人権と考えるひとは多くない。しかし、強者の言語が弱者に強制されるとき、それを「言語権」の侵害と捉えることができるのだ。

ことばへの権利「言語権」とは何か、なぜ言語権が守られなければならないのか？ 「言語権」という思想を世に問う、日本ではじめての本。

世界人権宣言50周年にあたる1998年に開催された、日本エスペラント学会主催シンポジウムの記録をはじめ、言語権に関する代表的論文の翻訳や関連資料をおさめる。

### ●●目次●●

はじめに

#### 第1部 シンポジウム「人権としての言語～言語権の思想と実践」

ヨーロッパの少数言語と言語権 ■原聖/アイヌ語復興の現状について ■中川裕/在日朝鮮人の言語状況と民族語使用权  
■藤井幸之助/エスペラントと言語権—二つの接点 ■タニヒロユキ/質疑応答

#### 第2部 論文

言語接触の諸問題 ■ハインツ・クロス 田中克彦訳/言語的不正と言語権 ■ロバート・フィリップソン/スクトナブ=カンガス 木村護郎訳/言語政策の新しいパラダイムに向けて ■マルク・フェテス 木村護郎訳

#### 第3部 資料編

世界人権宣言(抜粋)/国際人権規約(抜粋)/マイノリティ権利宣言/世界言語権宣言/言語権に関する声明(アメリカ言語学会)/国際語エスペラント運動に関するプラハ宣言/アイヌ文化振興法(抜粋)

あとがき

### 『ことばへの権利』注文書

下記までお申し込みください。

(財)日本エスペラント学会  
〒162-0042 東京都新宿区早稲田町12-3  
電話：03-3203-4581  
ファクス：03-3203-4582

▶ 注文冊数 \_\_\_\_\_ 冊

名前 \_\_\_\_\_

住所 〒 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

【 ENHAVO 目次 】

HEL kreis retroŝtan gazeton  
pri Esperanto  
祝！メールマガジン「国際  
共通語 Esperanto」創刊！  
KAWAI Yuka 川合 由香  
4~6

---

TTT-paĝo : registro de  
renovigoj  
ホームページ更新記録 6

---

Kodoj de supersignoj  
字上符付き文字の JIS コー  
ド表  
JOKOJAMA Hirojuki  
横山 裕之 7

---

Mezvintra Kurso gajis  
新春講習会のでんまつ  
KABAYAMA Yūsuke  
樺山 裕介 8~10

---

Raporto pri la kurso de ABC  
新春講習会  
一般向け入門講習会報告  
KAWAI Yuka 川合 由香 9

Por legantoj ekster Hokkajdo  
Neĝa Festo en Sapporo  
海外の読者向けの読み物  
さっぽろ雪まつり 10

---

Aina-lingva artikolo pri la  
nuklea kriza-reago en la  
vilaĝo Tookai  
東海村 オッタ 臨界事故  
アナ ルウェ ネ  
《エス・アイヌ語対訳第2弾  
JOKOJAMA Hirojuki  
横山 裕之 11~13

---

Danke ricevitaj  
受領郵便物  
HOŠIDA Aĉuŝi 星田 淳  
14~15

---

Aktivoj ĉe rondoj  
ロンドの活動 16

---

Raporto pri la 4-a komitata  
kunsido  
第4回HEL委員会報告 16

Raporto pri la 5-a komitata  
kunsido  
第5回HEL委員会報告 17

---

Ni eldonis "Retleteroj el  
Jugoslavio"  
「空爆下 ユーゴからの通  
信」出版成る 18

---

Kunaloĝado en majo  
5月合宿のご案内 19

---

Anonco de mi kiel unu  
membro de HEL  
HEL 会員からのお知らせ(個  
人)  
MATSUNO Hajime  
松野 元 17

---

《ロンドから》  
Elementa kurso okazos  
入門教室受講者募集  
Sapporo-Esperanto-  
Societo  
札幌エスペラント会 20

El redakatejo 編集部より

Ni publikigos la broŝuron "Raportoj de la  
karavano al For-Orienta Rusio" en la marto.  
Ni sendos la broŝuron kune kun la sekvonta  
numero de Heroldo de HEL al HEL-anoj.  
Okaze de subvencio el la Norda Regiona  
Fando, ni kompilas la raportaron, kaj  
eldonos ĝin kiel ekstra numero de Heroldo.  
ヘルルド別冊「極東ロシア訪問記」が3  
月発行の運びとなりました。本誌次号と  
同封してお送りします。刊行は北方圏交  
流基金の援助に拠りました。

El Libro-Servo de HEL

HEL 図書部からのお願い

HEL 図書部では、在庫が会員の需要に沿  
うように、充実させたく思っております。つき  
ましては、購入希望の図書、もしくは推薦図書  
をお知らせください。図書部での図書購入の参  
考にさせていただきます。3月末までにお知ら  
せ下さい。

また、不要になった本などありましたら、  
お寄せください。



[PR] 自動車保険はオンライン申込OK! 即日からすぐ補償  
 オンラインなら、さらに2,500円割引! ファミリー交通傷害も登場  
 事故時無料サポートする充実補償最大約40%OFFも大好評  
 ↓まずは無料お見積りから↓  
<http://dt.magclick.com/dt/c/g4j4LzYnT6vM11M40UwW4jQ>

[PR] クレディタ (東証一部上場企業) のインターネットキャッシング  
 インターネットでお金を借りる。→「申し込んだら、その日のうちに銀行振込  
 お金も借りる!」から「→一括で」のCB商品券 (5万円分) プレゼント  
 クレディタ (東証一部上場企業) のインターネットキャッシング  
<http://dt.magclick.com/dt/c/g4j4LzYnT6vM11M40UwW4jQ>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

国際共通語 エスペラント Lingvo internacia, Esperanto

創刊号 2000年 2月11日 毎月第2・第4金曜日発行

[http://www2u.biglobe.ne.jp/~HEL/jp/index\\_j.cgi](http://www2u.biglobe.ne.jp/~HEL/jp/index_j.cgi)  
 mailto:hel@esperanto.104.net

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

Solution!! (ザルトン) こんには! 読者の皆さん、エスペラントのメルマガに登録いただき、ありがとうございます。国際共通語の世界に扉をあけてください。

エスペラントの世界を数回にわたって紹介してから、エスペラント入門講座に入る予定です。皆さん、お楽しみに。

\*\*\*\*\* 創刊のことは 北海道エスペラント連盟委員長 星田 淳

今尚連盟の熱心な役員の方々の努力によって、国際語エスペラントに関するメルマガが発行されることになりました。エスペラント系トエスペラントを使う人) がどんな活動をしているかをまず知っていただき、その後関心を持って使いたい方々と一緒に、この言葉の使い方を練習してみようと思えます。別項の「エスペラント」と出ているように、この言葉のよさを我々はよくわかって、使っているつもりでしたが、もしかすると仲間内だけのひとりよがりであり、多くの人々に知ってもらう努力がまだ十分でなかったか。一と反省しています。その思いが今回、エスペラント界では初めての、このメルマガ計画として実を結びました。ではまたメルマガ上で、お目にかかりましょう。

\*\*\*\*\*

エスペラントの世界 No.1 エスペラントとは?

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

エスペラントとは、諸民族の平和的友好的コミュニケーションを目指して、1887年にポーランド (当時ロシア領) の眼科医、ラザロ・ルドヴィコ・ザメンホフによって提案された。国際共通 (補助) 語です。ザメンホフは、そのころヨーロッパで着目した民族対立の大きな原因の一つが言語の違いであると考え、多数のヨーロッパ語を研究して、学びやすく習い共通語を作ろうとしました。ザメンホフ以前にも幾度も国際共通語 (案) はいくつも出されましたが、多くの支持を得て今日まで実用されているのはエスペラントだけです。

\*\*\*\*\*

[http://www2u.biglobe.ne.jp/~HEL/jp/index\\_j.cgi](http://www2u.biglobe.ne.jp/~HEL/jp/index_j.cgi)  
 また、北海道連盟では「エスペラントよろず相談室」という掲示板を開設しました。どなたでも訪問歓迎です。エスペラントについての質問は、ここに書いてください。きっと親切な回答 (個人的意見ですが) が返ってきますよ。

以上、長くなりましたが、エスペラントの世界の入口のご案内でした。Bonvenon al Esperantojo! (エスペラントの世界へようこそ)

(文責: Nordano)

\*\*\*\*\*

※石たよりコーナー 投稿者: 加藤さん

このたび創刊準備が済みました。創刊の日を楽しみにしている一人です。どのような内容のものか早くご感想をお願いします。

ありがとうございます。(to\*) Dankon.

ところで、予想を上回る登録とのことですが、いったいどのくらいの登録があったのか、もし差し支えなければお教え願いたく思います。

総発行部数は、このメルマガの下の方に書いてあります。

それでは、2月11日を楽しみにしております。

さっそく創刊号に登場いただきました。

追伸: このメールアドレス良いですね。

へっへっへ。(^^)v hel@esperanto.104.net

加藤さん。ありがとうございます。ご期待ください。(文責: 北の国から)

\*\*\*\*\*

編集後記: 編集長のNordanoです。ハラハラドキドキの創刊号発行です。このメルマガがジンやエスペラントについての質問、ご意見ございましたら、遠慮なくメールや掲示板に投稿してください。

エスペラントの言語としての目的と特徴は、「合理性」「簡潔性」「平等性」です。母語の異なる人どうしが互いに歩み寄って使う言葉なのです。これは当然ともいえます。  
 「合理性」 文法が非常に規則的で、例外がありません。たとえば英語の「egg, went, gone」のような不規則変化にわずらわされることはありません。  
 「簡潔性」 ヨーロッパのいくつかの言語では、たとえば名詞に性別があったり、動詞が人称によって語尾変化したりします。これらは意を疎通のためには不要です。エスペラントではそうしたいろいろなことはそぎ落とされています。  
 「平等性」 現在、事実上英語が世界を席巻しています。でも、精定の民族語 (世界を見れば、英語は本来イングランドの方言に過ぎません) を「共通語」としてしまおうと、生まれながらにしてその「共通語」を使えない人と、努力して学習しなければ (しても?) 使えない人とのあいだに重大な不公平が生じます。そこで、共通語は「どの民族の言葉でもない言葉、でなければならぬ」のです。つまり、人工語ということです。  
 (※実際にはエスペラントもヨーロッパ語、とくにロマンス系言語寄りであるのは事実なので、習得の早い・遅いには母語による有利不利があるのは否めませんが。)

☆次に、エスペラントの簡潔について、

「エスペラントは国際語で聞くけど、話せる人は世界にどれくらいいるの?」とはよく聞かれる質問です。これはなかなか難しい。なぜなら、自然言語の場合は、ある民族の話者数はだいたいその民族人口に等しいわけですが、エスペラントでは教える方法がないからです。各国にさまざまなエスペラント組織があり、また世界組織もありますが、組織に属せずに独習しているエスペラント系トも非常に多いです。一人が複数の組織に重複加入していたりもします。また、どのくらいの学力があれば「話者」と認められるか、基準がありません。そんなわけで、推定は難しいのですが、よくいわれる数字は「世界で百万人」というものです。

エスペラントの特徴は、話者が世界に広く (百数十カ国) 薄く分布していることです。たとえば、現地語を話さない外国でエスペラントを使って旅行しようと思ったら、事前にその国のエスペラント系トを探さなければなりません。そのような旅の方法。また、エスペラントをどのように実用するかなどについては、これからこのメルマガでおいお紹介していきます。お楽しみに。

☆最後に、書籍と組織を紹介しましょう。

エスペラント誕生の経緯については  
 ・「国際共通語の夢」  
 二木敏三著・筑摩書房

英語=共通語 ではないけれど (について)  
 ・「英語支配の構造ー日本人と異文化コミュニケーションー」  
 津田幸男 著、第三書館  
 をお勧めします (私はこの本に感銘を受けてエスペラントをはじめました)。

現在の世界におけるエスペラントの位置づけと可能性については  
 ・「英語支配への異議ー異文化コミュニケーションと言語問題ー」  
 津田幸男 編、第三書館  
 有名なエスペラント系ト・水野義明氏の執筆した章が含まれています。

日本を代表するエスペラント組織に、以下のようなものがあります。

(財) 日本エスペラント学会  
 〒117-0042 東京都新宿区早稲田町2J-3  
 E-mail: jsetw@biglobe.ne.jp  
 HP: <http://www2u.biglobe.ne.jp/~jes/esperanto.html>  
 (※会費は約1500円。機関誌を毎月発行。書籍の販売・取り次ぎ、文通のあつせん。地方サークルについての問合せもこれに依ります)

日本青年エスペラント連絡会  
 〒162-0842 東京都新宿区早稲田町3J-3 (財) 日本エスペラント学会 宛付  
 E-mail: jey@groups.co.jp HP: <http://come.to/3J/>  
 (※会費は青年・元青年併せて現在約1000円。機関誌を隔月発行)

また、各地に地方連盟・地方サークルがあります。北海道エスペラント連盟のHPを紹介するので、活動の一隅としてのそいでみてください。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

※無断転載おことわり。転載希望の場合は、事前にご相談ください。  
 ※このメルマガを宣伝する目的の再配布は認めません。  
 ※前号の発行部数は4,000部でした。  
 ※このメルマガは、まぐまぐ、Magazine、E-magazineを利用して発行しています。  
 ※このメルマガのバックナンバーは、下記のURLへどうぞ。  
<http://jazz.tegami.com/backnumber/frame.cgi?id=0000024895>

\*\*\*\*\*

このメルマガは、インターネットの本屋さん「まぐまぐ」を利用して発行しています。( <http://www.mag2.com/> )  
 このメルマガの登録解除は、  
 ( <http://www.mag2.com/s/0000024895.htm> ) で可能です。

[PR] 人材バンクのインテリジェンスでは、特に業界第一線で活躍されているエンジニアの方を対象に【無料転職コンサルティング】を実施しております。業界に精通した専門のコンサルタントが、あなたのご希望をお聞きした上で

\*\*\*\*\*

何卒のための最適なキャリアパスをご提示させていただきます。  
 ◆無料登録→ <http://dt.magclick.com/dt/c/g4j4LzYnT6vM11M40UwW4jQ>

\*\*\*\*\*

ホームページのアドレス (URL)  
<http://www2u.biglobe.ne.jp/~HEL/index.htm>  
 HELの電子メールアドレス  
[hel@mud.biglobe.ne.jp](mailto:hel@mud.biglobe.ne.jp)



エスペラントの字上符文字に関する新JIS (JIS X0213) のコード表を以下のページにまとめました。ご覧になってください。

<http://www2u.biglobe.ne.jp/~HEL/jp/unimak-j.htm#jis>

面	区	点	GL 16 進数 コード	EUC16 進数コ ード	シフト JIS16 進数コ ード	国際 符号 化文 字集 合	日本語ブ ロック名	日本語文字名	国際ブロック名	国際文字名
1	10	57	2a59	aad9	85d7	0108	拡張ラテ ン文字	サーカムフレ クスアクセ ン ト付きC Ĉ	LATIN EXTENDED-A	LATIN CAPITAL LETTER C WITH CIRCUMFLEX
1	10	58	2a5a	aada	85d8	011C	拡張ラテ ン文字	サーカムフレ クスアクセ ン ト付きG Ĝ	LATIN EXTENDED-A	LATIN CAPITAL LETTER G WITH CIRCUMFLEX
1	10	59	2a5b	aadb	85d9	0124	拡張ラテ ン文字	サーカムフレ クスアクセ ン ト付きH Ĥ	LATIN EXTENDED-A	LATIN CAPITAL LETTER H WITH CIRCUMFLEX
1	10	60	2a5c	aadc	85da	0134	拡張ラテ ン文字	サーカムフレ クスアクセ ン ト付きJ Ĵ	LATIN EXTENDED-A	LATIN CAPITAL LETTER J WITH CIRCUMFLEX
1	10	61	2a5d	aadd	85db	015C	拡張ラテ ン文字	サーカムフレ クスアクセ ン ト付きS Š	LATIN EXTENDED-A	LATIN CAPITAL LETTER S WITH CIRCUMFLEX
1	10	62	2a5e	aade	85dc	016C	拡張ラテ ン文字	ブリーブ付き U Ŭ	LATIN EXTENDED-A	LATIN CAPITAL LETTER U WITH BREVE
1	10	63	2a5f	aadf	85dd	0109	拡張ラテ ン文字	サーカムフレ クスアクセ ン ト付きC小文 字 ĉ	LATIN EXTENDED-A	LATIN SMALL LETTER C WITH CIRCUMFLEX
1	10	64	2a60	aae0	85de	011D	拡張ラテ ン文字	サーカムフレ クスアクセ ン ト付きG小文 字 ĝ	LATIN EXTENDED-A	LATIN SMALL LETTER G WITH CIRCUMFLEX
1	10	65	2a61	aae1	85df	0125	拡張ラテ ン文字	サーカムフレ クスアクセ ン ト付きH小文 字 ĥ	LATIN EXTENDED-A	LATIN SMALL LETTER H WITH CIRCUMFLEX
1	10	66	2a62	aae2	85e0	0135	拡張ラテ ン文字	サーカムフレ クスアクセ ン ト付きJ小文 字 ĵ	LATIN EXTENDED-A	LATIN SMALL LETTER J WITH CIRCUMFLEX
1	10	67	2a63	aae3	85e1	015D	拡張ラテ ン文字	サーカムフレ クスアクセ ン ト付きS小文 字 š	LATIN EXTENDED-A	LATIN SMALL LETTER S WITH CIRCUMFLEX
1	10	68	2a64	aae4	85e2	016D	拡張ラテ ン文字	ブリーブ付き U小文字 ŭ	LATIN EXTENDED-A	LATIN SMALL LETTER U WITH BREVE

注) UCS (国際符号化文字集合) は、16進数です。Uni codeと同じとなっています。

Ĉi-jare okazis speciala kurso de HEL en februaro por ke samtage oni povos vidi la Sapporan Neĝfeston, kvankam ĝis la lasta jaro ni havis tian kurson en januaro, nomante ĝin Novjara Kurso. Rezulte ni nove nomis la jenan kurson Mezvintra Kurso. Ĝi okazis de la 12-a de februaro ĝis la 13-a, 2000, ĉe Rondetaĝo en Sapporo.

Bluo kovris la ĉielon super la neĝa urbo. Multaj venis super nia supozo. La venintoj faris du kursojn, elementan kaj neelementan. S-ino Choi Yun-huy gvidis la elementan, helpate de nia amiko Kawai Yuka. Bv. legi ŝian paĝon pri ŝia kurso.

Ĉe babilado antaŭ la neelementa kurso, s-ro KIMURA Goro, kiu venis de Tokio, montris novan libron. Tiu libro estas verko por familia vivo, kaj havas verbojn pri bestaj voĉoj, kio amuzus infanon en familio. Sekve mi skribis sur tabulo tiajn verbojn. Boji, hurli, kokeriki, graki, ktp,ktp,ktp ...Kies voĉo? Tiel mi komencis la kurson.

Mi, kiu spertis barakton dum lernado (malgraŭ eĉ nun malsufiĉe), parolis, kia maniero helpas progreson de post la plej elementa lernado. Due sekvis la temo, kiel demandi kaj respondi pri tempo kaj aĝo. Mi elektis tiujn temojn, ĉar tia interparolo plej komence kaj ofte aperas, sed ofte komencanto eraras. Eĉ mi, montrante ekzemplon, eraris pro konfuzo! Ĉu mi reale gvidanto de ĉi tiu kurso? Ne, mi estas kunlernanto, kiu liveris temon, kaj ĉiuj kune cerbumu kun mi, kaj mi indikos al reala gvidanto.

Tiu estas s-ro Goro, lerta kaj juna esperantisto. Laŭ lia gvido ni sinprezentis kaj aliajn prezentis kun gesto tiamaniere; Kimura la kara, Kabayama la kasita, Sato la sata, Kimura la kanta, Kudo la komika, Goto la genia, Nakano la naiva, Maeda la milda, Kanamori la kortuŝita, Hoŝida la hela, Suzuki la sana. Kaj ludis je "kasita (vera) funkcio". Laŭ ni, magnetoj sur paperoj estas broĉoj, materialo, kiu aspektas kvazaŭ faldebla seĝo, funkcias por paŝi sur profunda neĝo. Trie unu el ni devis perdi sian tutan memoron. Ĉiuj ceteraj scias ŝian/lian faman nomon. "Kiu estas mi?" Ĉu mi estas mortinta!? Jes. Ĉu mi vivis en Japanio? Ne. Ĉu mi...

Post la sabataj kursoj, s-ro Sergej Anikeev faris paroladon t.n. "Tero kaj libero" pri Rusia historio. Laŭ la fluo de historio reĝimo ŝanĝis signifon de popola laboro en vasta Rusio kaj nun draste popoloj flotas en urgano. Lia arda klarigo tiris tutan atenton de la aŭskultantoj.

En la dimanĉo, la 13-a tago, la neelementa kurso faris imagan vojaĝeton. Per limigitaj konjunkcioj ni sekvigis frazojn.

Nun ni iras al Neĝa Festo, sed mi ne havas monon.

Aliaj membroj havas multan monon, kaj estas tre ĝoja, ke ni iras al Neĝa Festo.

Ni alvenis al Neĝa Festo, tamen estas tre frida,

kvazaŭ ni estus sur suda poluso.

Ankaŭ multaj turistoj promenas en tiu loko, aŭ rezignis veni pro troa neĝo.

Ili iras al Susukino, ĉar ili amas tian lokon.

Ni deziras iri al Otaru, kvankam ni ne havas monon.

Ni decidus prezenti kanton sur Ŭdôri, dum ni tute estas amatoroj.

Neniu konas la konkludon de ilia(nia?) vagado.

Sekve ni dividiĝis en viroj kaj virinoj, konkuris pri parkera kapablo per bildoj. Ambaŭ trovis sin egalaj pri ĝi.

Laste s-ro Goro aŭdigis germanan popularan muzikon, kies lariko traktas Esperanton kaj estas parte esperanta.



La elementaj kursanoj kaj ni, fininte sian lecion, unuĉamble amuzis ludon t.n. "Kiu estas mi?" (alia ludo al tio, kion ni jam estis ludinta ĉe la neelementa kurso)

Fine ni kantis kantojn gvidate de s-ro Hoŝida.

28 personoj da partoprenantoj estis. Mi dankas al ĉiu aliĝo, precipe por ke mi mem spertis tiel ĝojan lernotempon dank' al tiel multaj ĉiuj.

## Raporto pri la Kurso de ABC

新春講習会・一般向け入門講座報告

KAWAI Yuka 川合 由香

S-ino Choi Yun-huy gvidis la kurson kun kvin partoprenantoj. Mi kiel la helpanto kaŝis al ili, ke ŝi lerte parolas la japanan, kaj ŝi instruis per Ĉe-metodo.

Tamen, unu partoprenanto, deantaŭa konato de s-ino Choi, kiu alvenis ĉirkaŭ la fino de la unataga leciono laŭte diris la japane, "Saluton, s-ino Choi! Longan nevidon! Ankaŭ ĉi-nokte ni iru al



'karaoke'!" Do s-ino Choi, senintence elparolis la japanan! Ve! Ĉiuj ridegis.

S-ino Choi multfoje emfazis, ke laŭte prononci stimolante la cerbon helpas memoradon. Por ekzercado vigla kaj gaja ĉi-nombro kvin ŝajnis taŭga.

Dum ripozo kelkaj tuje kun intereso aĉetis memlernolibron ĉe Libro-Servo de HEL. Mi, la respondeculo, sentis helan perspektivon. En elementa kurso por civitanoj pleje gravas semi por estonteco. Pri ĉi tiu punkto ĉi-foja kurso sukcese finiĝis, ŝajnis al mi.

入門講座には5名が参加。講師はChoi Yun-huy氏。彼女が日本語ペラペラであることは参加者には内緒にしておいて、助手の私は彼女ともっぱらEでやりとりし、直接教授法で講習を進めてもらった。

ところが、1日目の終わり頃、遅れてやってきた参加者の一人が、「いや～、Choiさん、先日はどうもどうも・・・またカラオケに行きましょうよ!」といい、Choi氏、つられて日本語を口走ってしまった。あらら。一同爆笑。

Choi氏は繰り返し、「大きな声で発音すると、脳がよく記憶するので良い」と強調していた。和やかに、かつ盛り上がって発音練習するためには、5名というのは適当な人数だったようだ。

休憩時間には早速HEL図書販売所で独習書を買って求める人もいて、今後に対する手応えを感じることができた。入門講座で大事なのは今後への種まきである。それは今回にかんしては成功したようだ。

おまけ

# 名前当て LUDO 全返答集

Kiu estas mi?

1 Se vi havus alian vivon, kiun profesion vi havus?  
 kamparano aŭ agrikulturo [5 homoj], ĝardenisto  
 aventuristo [2], turisto (same de Saru-Ganseki), politikisto, administranto,  
 ĵurnaristo [2], advokato, artisto, teknikisto por ripari murpentraĵoj,  
 fervojisto, maristo, tervermo [certe vi leganto dubus, sed vera]  
 Mi ne povas pripensi alian vivon

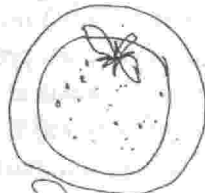


rizo kun ovo  
 ただし有機農法  
 モノで"



2 Kion vi deziris esti en estonteco, kiam vi estis knabo aŭ knabino?  
 knabo[3], plenaĝulo[3](por superi patron, por ami virinon), kuracisto, astronomo,  
 kukisto, edzino, advokato, dancisto, ĝardenisto, piloto[2], mara armisto,  
 diplomato, oranĝo [ne eraro sed vero], Mi fogesis

気象に



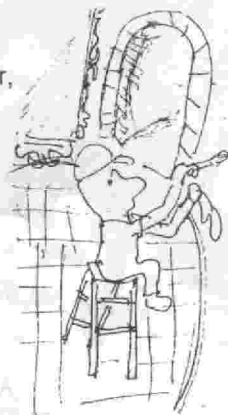
3 Kiam estis via unua amo?  
 de 4 ĝis 15-jara, kiam ajn

4 Kiu manĝaĵo alplaĉas al vi?  
 maraĵoj, fromaĝo, ĉina nudelo, spageto, japana nudelo, udono, rizo kun kotleto  
 kuirita de mia patrino, rizkaĉo kaj rizo kun sairo kuirita de mia edzino, pomo, mango, fiŝo,  
 ĉina kuirajo, laktajo, rizo kun ovo, pomajo, kareo, ĉokolado, tohuo, freŝa legomo,  
 ĉio[2](precipe pika, se oni kuirus por mi)



Mi volas  
 esti oranĝo...  
 オレンジになりたい

5 Kiu aktoro, aktorino, kantisto, kantistino plaĉas al vi?  
 Enya, Joŝinaga Sajuri[2], Eves Montand, Robert de Niro, Jamie Walters,  
 Celine Dion, Nakazima Miyuki[2], Anne Sophy von Otter, Kimu-Taku, Kĵo Maĉiko,  
 Sintani Noriko, Mihune Tosirō, Katō Reiko, Billy Joel, Denzel Wassington, Jodie Foster,  
 John Lennon, Neil Young, Sakamoto Huyumi, Miyako Harumi, Mariah Carey[2],  
 Kianu Reeves, Meg Ryan, Ricky Martin, neniu[2]



6 Kiom da jaroj vi havas?  
 diversaj

7 En kiu urbo vi naskiĝis?  
 Hokkajdo=Ainumosiri=Ezo[12](Sapporo[3], Bibai[2], Kita-Hirosima, Atuta,  
 Asahikawa, Kutĉan, Tisaka en Hidaka-tyo, k.a.) Hukusima(Kitakata), Yamanasi(Kofu),  
 Aiti(Nagoya[2], Toyota), Osaka(Suita), Koreio(Pusan)

Konkludo, kio estas via nomo?

Por legantoj ekster Hokkajdo

## Neĝa Festo en Sapporo

Sur la urbo Sapporo neĝas pli abunde ol sur alia parto en Hokkajdo, kvankam kvarono de Hokkajdanoj loĝas. La loĝantoj devas ŝoveli neĝon kun granda peno multfoje dum vintro. Antaŭ 50 jaroj, kelkaj civitanoj provis male ĝui la tian malafablan neĝon. Ili kreis grandajn statuojn el naĝo sur la centra zono. Tio daŭris en ĉiu jaro dank' al fervolo de ili kaj aliaj allogitaj. Konsekvence tio kreskis tiel granda "Neĝa Festo", ke multe da japanoj kaj eĉ alilandanoj venas vidi la feston.



東海村 オッタ 臨界事故 アナ ルウェ ネ

Tôkaimura or ta rinkaiziko an a ruwe ne JOKQJAMA Hirojuki

横山 裕之

Klarigo de aina-lingva artikolo per Esperanto kaj Aina-lingvo

Kio estas restituo de perdanta lingvo t.e. aina-lingvo? Oni trovas diversajn movadojn por tio, sed mi pensas, ke unu el tio estas kontribui la artikolon al aina-lingva-gazeto, kio estas grava movado.

Restituo de aina-lingvo ne nur estas la problemo de aina-gento, sed ankaux la problemo de japana socio, kiu volis forigi aina-lingvon.

Mi aprobas la proponon "Lingva diverseco" de "Manifesto de Prago." Mi elkore esperas restituon de aina-lingvo.

Mi kontribuis la artikolon "En la vilagxo Tookai, la akcidento de nuklea kriza-reago okazis", sekve post la artikolo "Esperanto", al "Ainutimes", kiu estas gazeto nur aina-lingve.

Do, mi klarigas la artikolon per Esperanto kaj aina-lingvo.

<Esperanto>

En la vilaĝo Tookai, la akcidento de nuklea kriza-reago okazis.

En la 30-a de septembro 1999, en Tookai-oferejo de la Okciakompanio JOC en la vilaĝo Tookai, la profektujo Ibaraki, kiam nitrata-acida solvaĵo, kiu solvas uranion, estis enverŝita en precipita-cisternon (lokon, kie oni precipitas uranion), nuklea kriza-reago okazis, kvankam oni ne sciis, kial tio okazis.

Ĉar tio okazis, tie tri laboristoj suferas la venenon, kiun oni nomas radioj.

Oni nomas tion "hibaku (suferi radiojn)".

Kune oni sendis tiujn en hospitalon kaj ricevas kuracon.

<aina-lingvo>

Tokaimura or ta rinkaiziko an a ruwe ne.

1999 pa 9 cup 30 to ta, Ibarakiken Tôkaimura un kabusikigaisya Zyê Si Ô (JCO) Tôkaizigyôsyô or ta JCO un utar, oro un uran ru wa an syôsan'yôeki tindensô (uran a=omare wa a=ratcire uske) or omare akusu, hemanta kusu ne ya ka a=erampewtek korka rinkai an a ruwe ne.

orowano néwaan pe an kusu oro ta monrayke utar ren ne wa hôsyasen sekora ye surku kar wa okere.

néwaan pe hibaku sekora ye ruwe ne.

uturano byôin or un a=ahupte wa, a=kokarkar kor oka.

Post tio, radioj ĉirkaŭ la loko estas ellasita multe, la buroo pri scienco kaj tekniko faris la centrejon por rimedo pri la akcidento kaj pripensis, kio estas la plej bona ago.

Ĉar japana registaro estas maltrankvila pri la malbona afero, faris la centrejo por rimedo de la registaro, la ĉefministro Obuĉi fariĝis la ĉefo de la centrejo kaj donis la ordonon.

La vilaĝaoficejo Tookai kaj profektejo Ibaraki diris, ke personoj, kiuj estas tre proksimaj (350 metroj) de tie, preferu rifuĝi, kaj personoj, kiuj estas malproksimaj (10km), de tie, preferu esti hejme.

Post tio, la registaro urĝe kunvokis la membrojn, kiuj bone konas radiojn, kaj konsultis tiujn pri tio por reniigi tiujn radiojn ĉiel.

En la 1-a de oktobro, la registaro sciigis laŭ la membroj, kiuj bone konas radiojn, kaj laboristoj de JCO deprenis malvarman akvon ĉirkaŭ la precipita-cisterno.

Do nuklea-fisio malfacile okazis, nuklea kriza-reago ĉesis kaj radioj fariĝis malmulte.

Japano-nukleaenergio-instituto (Nihon-gensiryoku-kenkyuujo) kaj ciklo-realigo-organizo (Kakunenryoo-saikuru-kaihatu-kikoo) proksima de tie, esploris la radiojn. Tiuj la membroj, kiuj bone konas radiojn, informis pri konsekvenco de la esploro de tiuj.

La membroj, kiuj bone konas radiojn, sciigis, do, la registaro trankviligis, pro tio, ke radioj estas malmultaj.

okake ta ne uske okari *hōsyasen* poro kusu *kagakugizyututyō* anakne *zikotaisaku-honbu* kar wa mak iki=an yak pirka ya ka yaykosiramsuypa.

*sēhu* anakne tan wenpe eramusarak kusu *sēhu-taisaku-honbu* kar hine, *Obuti sōri honbutyō* ne ikaspaotte ruwe ne.

*Tōkaimura*, *Ibarakiken* anakne, sonno hanke (350 *mētoru*) uske ta okay pe ne yakun kira yak pirka, tuyma (10 *kiro-mētoru*) uske ta okay pe ne yakun cise onnay ta oka yak pirka, sekor ye ruwe ne.

orowano *sēhu* anakne *hōsyasen* pirkano eramuan utar yaytunaska no uwekarpare wa, nen poka iki wa ne *hōsyasen* isamka kuni ukoramkor ruwe ne.

10 cup 1 to ta *sēhu* anakne *hōsyasen* pirkano eramuan utar ye itak nu wa *JCO* un utar *tindensō* okari an nam wakka sanke ruwe ne.

akusu, *kakubunretu* ki ewen wa *rinkai* isam wa *hōsyasen* pon ruwe ne.

ne uske ta oka *Nihon-gensiryoku-kenkyū-zyo*, *Kakunenryōsaikuru-kaihatukikō* un utar *hōsyasen* uwanpare ruwe ne.

nérok utar anakne *hōsyasen* pirkano eramuan utar a=uwanpare p nūre ruwe ne.

*hōsyasen* pirkano eramuan utar ye itak *sēhu* nu wa, *hōsyasen* pon kusu néwaan pe a=eramusinne ruwe ne.

Pro tio, la publika-oficejo diris, ke personoj, kiuj rifuĝas, povas reveni hejmen, kaj personoj, kiuj estas hejme, povas iri eksteren.

La buroo pri scienco kaj tekniko, ekde la 3-a de oktobro, per regulo, kiun oni nomas reguliga leĝo pri nuklea-energio ktp, esploris malbonajn aferojn en aliaj aferoj.

Pro tio, ke ili ne trovas malbonajn aferojn en aliaj aferoj, la registaro diris, ke nenio grava.

Pro tio, ĉefaj personoj de JCO bonorde ne indikis al la laboristoj gravajn aferojn, kaj la laboristoj senskrupule laboris, tio okazis.

Mi pensas, ke oni devas ne trovi tiajn terurajn aferojn ekde nun.

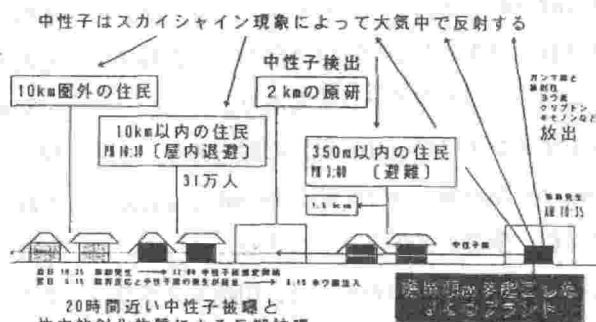
もし、「アイヌタイムズ」を購読したければ、次のところに往復ハガキで連絡してください。  
季刊誌で年に4回発行しています。  
なお、日本語版も一号遅れで購入することができます。

055-01  
北海道沙流郡平取町二風谷80-25  
アイヌ語ペンクラブ

もし、「アイヌタイムズ」へアイヌ語記事を投稿したければ、以下のところに連絡してください。アイヌ語原文と日本語訳と自己紹介したものを送ればよいそうです

題材、形式、ページ数などは、自由です。

047-0016  
北海道小樽市信香町6-11  
浜田隆史  
TEL&FAX: 0134-24-9620  
e-mail: hamada@mb.infosnow.ne.jp



20時間近い中性子被曝と  
体内放射化物質による長期被曝  
中性子の測定は6時間以上おこなわれなかった  
食塩と人体から放射性ナトリウム24検出

図は、「人間家族」編集委員「原子力の時代は終わった」より

tan pe kusu nérok kira utar ne yakun ho-  
sippa yakka pirka, cise onnay ta an utar ne  
yakun soyne yakka pirka, sekor ye ruwe ne.

kagakugizyututyô anakne 10 cup 3 to wa-  
no gensiryoku-tô-kiseihô sekor a=ye irenka  
ani oya zigyôsyo or ta wenpe uwanpare ru-  
we ne. oya zigyôsyo or ta wenpe isam ku-  
su sêhu anakne tane pirka sekor ye ruwe  
ne.

rinkai isam kunak a=ramu uske ta rinkai  
an a ruwe ne. kusu néwaan pe sonno a=e-  
ramutuy pe ne ruwe ne.

JCO un sapane kur, oro un utar a=eyam  
pe somo pirkano epakasnu kusu, nérok utar  
etarka iki wa tan pe an a ruwe ne.

te wano néno an wenpe isam kuni a=eto-  
koyki kuni p ne na kunak ku=ramu.

\*水星 6号: 水星舎受贈資料他 1999 年7-12月 B5 X12頁、和文。受贈資料に Heroldo de HEL 80-82 などエスペラント関係7点。昨年(1998)の第2回アジア大会のさいベトナム戦争中の枯れ葉剤による障害者の施設を訪ねた矢島陽子(福島)の報告(結婚しても奇形児が生まれたので妻は驚いて逃げてしまい、結局家庭を作れなかった元兵士の話など)

HEL とウラジオのエスペラントクラブの議定書も転載されている。

\*LA TAMTAMO: 第307号(1999年11月号) 横浜エスペラント会(JER), A4 X 4頁(日本語) ベルリンUKの機会に姉妹都市からの出席者達との盛んな交流の報告(相田弥生)。

\*Novajoj Tamtamas: n-ro 153, novembro 1999, A4 X 4頁、全文エスペラント(JER)。運転中の携帯電話禁止、東海村の核燃料「臨界」事故、20世紀の日本女性100人(集英社)に長谷川テル、一と、今の話題を取り上げていこうとする姿勢がある。

\*センター通信: 1999年11月29日名古屋エスペラントセンター発行 N-ro 213 B5X12頁の内エスペラント文5頁半。S-ro 丹羽正久の追悼記事がトップ。アジア大会記事の連載終わり。

\*LA TAMTAMO: 第308号(1999年12月号, JER), A4 X 4頁。日本語だが今回は外部からの寄稿文だけ半ページのエスペラント文あり。

神奈川ザメンホフ祭(江ノ島)の報告あり。

\*Novajoj Tamtamas: n-ro 154, decembro 1999, A4 X 4頁、全文エスペラント(JER)。

\*Eskalo 第83号、1999年12月、川崎エスペラ

ント会、B5 X 6頁、日本語。アジア大会、UK、IJKの報告と写真1頁に8枚。川崎市国際交流協会の定期行事「地球市民講座」(「ユーゴスラビアの現状について」S-ino 菊島和子らの講演)のチラシ入り。

\*NOVA VOJO: 1999. 12 (N-ro 347 dec.), 大本エスペラント普及会, A5 X36頁、内エスペラント文11頁。継続普通会員に谷口敦彦(札幌)。

\*NORD-AMERIKA SOMERA ESPERANTO-KURSARO 毎年のサンフランシスコ大学での講座の予告。2000年は6月26日から7月14日まで。入門から上級まで4段階、各コース受講料450ドル、宿泊食事は2人部屋で819ドル、1人部屋で1113ドル。講師の中に Spomenka Stimec (クロアチア、88年来道)、Reza Kheir-khah (イラン、日本在住)の名がある。

\*VOCO: N-ro. 12 '99 dec. 大阪エスペラント会 B5X8頁、日本語。S-ro 松原八郎の1989年2月以来連載の「つながり小辞典」はこの号で「その126」に達している。出版準備中とのこと。

\*LA SUNO: N-ro 70, 1999. 12. 12, 山梨エスペラント会、B5 X23頁のうちエスペラント文4頁。「話しましょう」(高橋要一)はHEL機関誌だった「LEONTODO N-ro 17(1956 NOV.)」に掲載されたものです。工藤尚(元HEL客員)記」とある。

\*Novajoj Tamtamas: n-ro 155, januaro 1999, A4 X 4頁、全文エスペラント(JER)。

\*Mejlstono 2000/1, n-ro 157, 仙台E会: B5 X8頁のうちエスペラント文1頁は、昨年末オーストラリアの日本研究者会議(konferenco de

asocio de japanologoj en Aŭstralio) に参加した MATUMOTO Takasi のもの。

\*LA TANTAMO: 第309号(2000年1月号, JER), A4 X12頁、日本文。年次総会(1月29日)の議案や報告で厚い。「目標会員100名」とある。

\*SFERILO: 変形A4版1枚2頁。ESP. 英文混在。サンフランシスコ(北カリフォルニア)地域エスペラント組織SFEROの機関紙、2月例会予告号。MIKO SLOPER FUĜOS AL LA MONTOJ DE NOVA MEKSIKIO!: 哲学の学位を取るため1年間 Santa Fe に引きこもるといふ。

\*年賀はがき: 日本共産党北海道委員会

\*VoJo SENLIMA: No. 146 Januaro 1998, 熊本エスペラント会、B5 X10頁。鶴野前会長の追悼特集(続き)。2000年日本大会へ向けて、地方自治体、諸団体訪問を活発に続けている。

\*Eskalo 第84号、2000年1月、川崎エスペラント会、B5 X 8頁中E. 文4頁。会員6人の個人的なE. 体験記、旅行記。

\*PONTETO: Januaro 2000 N-ro 179, : 関東エスペラント連盟: B5X16頁の内エスペラント文2頁。加盟ロンドの新年あいさつ、この号には6団体、あとは次号に続く。

\*NOVA VOJO: 2000. 1 (N-ro 348 jan.), 大本エスペラント普及会、A5 X36頁、内エスペラント文10頁強。「夢ではなくなった(略) - 英語全盛の日本での戦略」(出口京太郎)は、英語のわかる外国人に英語を使ってエスペラントを広めよう、読ませる資料はいろいろあります、という提案。会員名簿に加藤美恵、佐藤布美子(北海道)。

\*La Movado N-ro 587 jan. 2000, B5版20頁の

内E. 文は1頁弱。歌(楽譜付き)のページは Rigardu nun al la stel' (見上げてご覧、夜の星を)。ただし tril' の音はCでなくF。

\*受講生通信 第68号 2000-01-07: 沼津エスペラント会通信講座: B5X 12頁のうちエスペラント文(修了者あいさつ)4頁強。現在、入門/初級432名、中級164名、計596名。真鍋俊行さん(帯広)は、テルアビブ大会番号272番とのこと。

\*センター通信: 2000年1月24日名古屋エスペラントセンター発行 N-ro214 B5X12頁の内エスペラント文3頁半。丹羽正久さん追悼特集。

\*VERDA MONTETO: Januaro, Februaro 2000, 和歌山, N-ro109: 変形B5版 X10頁のうちエスペラント文約3頁。EN MEZGRADA LERNEJO はフランスの同志の日本の中学校訪問記。20年前のことだが、「黒い制服、沈黙 - 軍隊を連想した」という印象は、今ならどうだろうか。

\*NOVA VOJO: 2000. 2 (N-ro 349 feb.), 大本エスペラント普及会、A5 X30頁、内エスペラント文9頁。今年世界大会があるイスラエルの首都エルサレムと京都府綾部市(大本教の聖地)との「友好都市宣言」に双方が合意し(1月24日)、2月9日綾部で調印式が行われることになったとのこと。普通会员名簿に馬場恵美子、池田宏基(北海道)。

\*La Movado N-ro 588 feb. 2000, B5版16頁の内E. 文は半頁。「1894年のエスペラント改造秘話」(いとうかんじ)の連載始まる。Wikipoto 「アイヌタイムス」11号に横山裕之(HEL 広報部長)がエスペラント解説記事 - と出ている。

札幌エスペラント会

今まで： 1999年12月11日 ザメンホフ祭

12月18日 趙承華さんを迎えて昼食会

これから：2000年2月26日(土) 総会 (13:00~16:00 かでる2-7)

3月11日(土) 入門教室開講 (詳しくは裏表紙<20ページ>)

\*第1, 3木曜 13:00~ Vinberoj 「ぼたえもん文庫」輪読

\*毎週土曜 13:00~ 笑話など

\*毎週土曜 13:00~ 聖書「列王紀」

\*第4土曜 10:00~ 会話

場所はすべて、かでる2-7 (中央区)

苫小牧エスペラント会

今まで：1999年12月15日 ザメンホフ祭

2000年1月23日 新年会

\*第1, 3, 4水曜のうち、2回 18:40~ 本町、アイビープラザにて  
歌、「Gerda malaperis!」「やさしい作文」など

SAT札幌

\*毎週木曜 19:00~ 例会、ロンデタージョ (北区) にて  
Laborista Esperanto-Asocio(LEA) づくりに向けて模索中

ロンデタージョ (バスポルタ セルボ)

今まで：1999年12月16日 趙承華さんを迎えて食事・飲談

函館エスペラント会、小樽エスペラント会は、一時活動休止中

◇趙承華さん (s-ro Zhao Cheng Hua)は昔、札幌を訪れて、道内のエスペランチストと交歓した人で、今回は、瀋陽市の日本考察団の一員としていらっしゃいました。

**Raporto pri la 4-a komitata kunsido      第4回 HEL 委員会報告**

日時：1月22日(土) 17:00~      場所：札幌市、ロンデタージョ

出席者：星田 淳、後藤 義治、佐藤 英治、天方 良彦、樺山 裕介、横山 裕之、前田 幸一

鈴木 佳子 (会員、事務局)、権野 正浩 (会員)、委任：川合 由香

1. 第64回道大会について 時間と場所の調整。
2. 新春講習会について 講師募集の状況報告。はがきや、その他の宣伝媒体の検討と状況。
3. メールマガジンについて 創刊大詰めに。隔週で金曜発行に。
4. 極東ロシア訪問記について ヘロルド増刊号とし、HEL 会員全員に送る。
5. 発行書籍の寄贈と販売の依頼について JEI, KLEG へ「空爆下 ユーゴからの通信」「極東ロシア訪問記」を送り、併せて販売も依頼する。



Raporto pri la 5-a komitata kunsido 第5回 HEL 委員会報告

日時：2月13日（日）13：00～ 場所：札幌市、ロンデタージョ

出席者：星田 淳、阿部 映子、後藤 義治、佐藤 英治、前田 幸一、中野 常明、川合 由香、横山 裕之、  
樺山 裕介、松野 元（会計監査）、鈴木 佳子（会員、事務局員）、委任：天方 良彦

1. 新春講習会のまとめ のべ28人の参加。会計は黒字。
2. 5月合宿について 5月13～14日、平取町での合宿の委細についての事務局案を検討。講演依頼先と講習会の内容について質疑、検討あり。講習の中身は、事務局と研究教育部の合同で決める事に。
3. 第64回道大会開催（小樽）について 会場確保の見直しについて。直前講習会を9月6～8日に縮める。
4. メールマガジンの発行状況 2月11日に創刊号発行済み。
5. インターネットの現状について よろず相談室のカウントが和文が1200を越え、E文版が1000くらいになっているとの報告。
6. 機関誌の編集について 記事の見積もり。ハバロフスクの協力者を機関誌送付の対象に入れることを承認。
7. その他 A:「極東ロシア訪問記」3月発行予定。 B: Eのパンフを「国民の歴史」出版記念講演会（約1500名規模）で配る準備中。 C: 国際部が、Indigena ponto について対応を考えるために、資料等集めたいので、協力して欲しいと要請。 D: 小淵首相の諮問機関が英語を第2公用語にすることなどを答申したことに対して、HELから反対の行動ができないかとの意見があり、今後の課題とした。 D: 次回委員会は4月1日17：30からロンデタージョで。

Anonco de mi kiel unu membro de HEL

MATSUNO Hajime

HEL 会員からのお知らせ

松野 元

Saluton, legantoj ĉiuj! Mi estas Matsuno Hajime, unu membro de HEL.  
Kaj mi estas membro de "La japana societo por reformo de lernolibro pri historio kaj civitano". Nia societo publikigis "La historio de japana civitano".  
Tiu libro efektivigis 700,000 ekzemplerojn vendi.

Ĉi tiun fojon, en Sapporo nia Hokkajda folio malfermos paroladon.  
Bonvolu partopreni en ni!

Parolado de publikiga memoro de "LA HISTORIO DE JAPANA CIVITANO"

...danaco al geknaboj...

dato: la 23-a de aprilo<dimanĉo>, Heisei 12-jaro[2000 kristana]

13:00 - 16:00

loko: Granda Halo de Sapporo-Simin-Kaikan

parolantoj: s-ro NISIO Kanji, la verkinto

s-ino KIM Birei, formosano, la 1-a estro de la japanlingva lernejo JET

kotizo: 1800 enoj (en tiu ĉi dato), 1500 enoj (antaŭvenda bileto)

demando pri tio al: TEL 011-387-4574; Matsuno



Ni eldonis "Retleteroĵ el Jugoslaviaj samideanoj"

「空爆下 ユーゴからの通信」出版成る

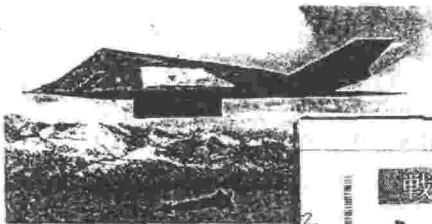
En la jaro 1999, la koflikto en Kosovo metamorfoze evoluis, kvazaŭ limigita mondmilito kiel vi scias.

NATO bombis Jugoslavion. Informo pri masakro, rifuĝo, batalo, intrigo, disrompo, malamo, politiko ... Malfacile estas kompreni veron. La prezidanto de HEL, HOŠIDA Acuŝi ricevidis esperantajn retleteroĵn el bombataj urboj. Li redaktis tiujn retleteroĵn, kaj ni fine ja prezentas ĉi tiun broŝuron publike. Ĝi ne sufiĉas por la tuta figuro de la milito, sed gravas kiel fakto, kiun ni malmulte scias en tia formo de rekta kruda informo. Tiu broŝuro devis aperi ĉe la lastjara Hokkajda Kongreso kiel tiea memoraĵo laŭ nia plano, sed tiam ne efektiviĝis. Tial HEL sendas ĝin al la partoprenantoj de la kongreso, kaj estiĝis preta vendi je 450 enoj. Ni elkore atendas kaj akceptos vian mendon. (red.)

お待ちせしました。昨年1999年の北海道大会記念品の「空爆下 ユーゴからの通信」ができあがりました。定価は450円です。昨年の大会に参加された方には無料で送付します。内容は、本誌で昨年、掲載した星田 淳「空爆日誌」と、その後の電子メールに、いくつかの資料を併せてまとめたものです。

Retleteroĵ el Jugoslaviaj samideanoj  
空爆下 ユーゴからの通信

(1999年3月25日~6月16日)



HOŠIDA Acuŝi 星田 淳  
Hokkajda Esperanto-Ligo 北海道エス

\* 題名: Retleteroĵ el Jugoslaviaj samideanoj  
\* 発行: 1999年3月25日~6月16日  
\* 価格: 450円  
\* 内容: ... (transcription of the book's content description in Esperanto)

空爆下ユーゴからのメール  
小冊子にまとめる



星田 淳の  
空爆の  
悲劇  
克明に

コンサドー  
ホス

編纂作業中にも、  
「新聞で見た」ので注文したいと  
いう電話が、道内のみならず  
本州からもかかっています。

空爆下ユーゴからの通信  
星田 淳の空爆の悲劇克明に

# kunlogado en majo 5 月合宿のご案内

開催日時 5月13日(土) 13:00~ 14日(日) 12:00 解散

会場 沙流郡平取町 \*只今、会場物色中です。

スローガン 「アイヌ文化にふれる、エスペラントにふれてもらう」

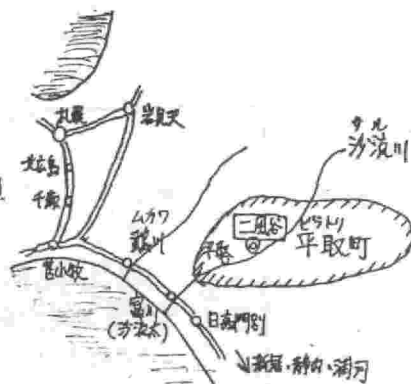
参加費 宿泊有(一泊二食) 4000円 その他の食費は実費負担

宿泊無 2000円

道外参加者・高校生以下 500円

一般参加者 無料

\*交通費、懇親会代は各自負担です。



宿泊先 山道アイヌ語学校 TEL 01457-2-2061 平取町二風谷 但し雑魚寝になります。

この他に民宿をご希望の方は、各自ご手配下さい。

★ 民宿ニブタニ荘 TEL 01457-2-2027 一泊二食 5300円+税

★ 民宿チセ TEL 01457-2-2559 一泊二食 5000円+税

なお、近くに温泉もあります。★びらとり温泉 入浴料 450円 TEL 01457-2-3280

交通機関 札幌、苫小牧より車の相乗りを予定。

公共交通機関はJR 日高本線「富川」下車、富川駅前より道南バス。

詳細は追ってご案内します。

## プログラム(予定)

5月13日(土) 13:00~受付

13:30~開会 テーマ ~アイヌ語とエスペラント語~

講演2本を予定

アイヌの歌と踊り 山道アイヌ語学校の皆さん

17:00 終了

移動 夕食 懇親会

14日(日) 9:00~11:00 エスペラント語講習会

11:00~12:00 山菜取り又は博物館見学

見学科 400円

\* エスペラント入門講習開催 (平行して)

問合・参加申込先:

北海道エスペラント連盟事務局 TEL/FAX 011-717-4189

001-0045 札幌市北区麻生町 1-3-13, 3F ロンデタージョ

Heroldo de HEL

第 83 号 (2000. 2.23)

北海道エスペラント連盟機関紙

編集部 〒001-0045

札幌市北区麻生町 1-3-13, 3F

ロンデタージョ TEL 011-717-4189

郵便振替口座

02700-6-17075

北海道エスペラント連盟

正会員 3000円 家族会員 1000円

青年会員(25歳以下) 1500円

購読会員 2000円 /1年

# 受 講 生 募 集

(2000年第1回講習会)

## ◇ エスペラント語 入 門 教 室

- ★エスペラント語は、「国際語、中立言語、地球語」等と呼ばれ、1887年に発表された人造語です。現在世界の約120ヵ国で学ばれています。
- ★国際交流には言語を除外しては考えられません。世界に1800以上の民族語があります。しかしこれらすべて学ぶことは不可能です。また、国際共通語として幾つかの民族語が用いられていますが、中立言語としては対等に用いることはできません。
- ★エスペラント語は欧米語の語根を採用しながら、文法は16条にまとめられ、発音は1字1音で、読書は2時間もあればマスターできます。
- ★この講習によって、基礎文法、易しい読書や国際文通が可能になるように学びます。また欧米語の学習を助け、高齢者には頭脳の活用に役立ちます。
- ★この講習終了後希望者には継続グループ学習のコースもあります。

### 講習要領

- 1) 入門講習：3月11日より13回コース  
講習日：毎週土曜日午後1時30分より2時間
- 2) 募集人員：応募者3名以上で開講します。
- 3) 受講料(全期間) ￥5,000円  
内訳：テキスト・教材・会場費等
- 4) 講習会場：中央区北2条西7丁目  
かでの：2・7

☆主催：札幌エスペラント会

☆お問い合わせ・申込先

(申し込み締め切り：3月4日まで下記に)

〒062-0032 札幌市豊平区西岡2条11丁目19-1

宮岸 忠孝(講習責任者)

\*TEL\*FAX・582-3122

\*メールアドレス・mijagisi@cocoa.ocn.ne.jp

以上